

暗号資産のマルチシグを用いたエスクローサービスの検討

← 36mm →

電子商取引研究室 長谷川 嵩祐

1. 序論

電子商取引において支払いや商品の発送などについての安全性を保証する仲介サービスとしてエスクローサービスがある。現在のエスクローサービスの問題点としては、エスクローエージェントがお金の送金や通知を手動で行なっている為、手間がかかってしまっている点だ。そこで暗号資産のマルチシグを用いた、エスクローサービスの提案する。symbolとReactを用いて、エスクローエージェントの手動で行う部分を「自動化」させたネットショッピングサイトを開発していく。

2. マルチシグエスクローネットショッピング

エスクローサービスを適用したネットショッピングサイトの簡単な流れを図1に示した。本研究では、ネットショッピングサイトにおいて、ここに暗号資産の2of2マルチシグを買手とエスクロー、売手とエスクロー それぞれに適用させる。また、エスクローに買手・売手の商品取引の際に発生する商品情報やアカウント情報のwebAPIを持たせることで、エスクローエージェントの手動で行う部分を「自動化」させたネットショッピングサイトをsymbolとReactを用いて開発する。

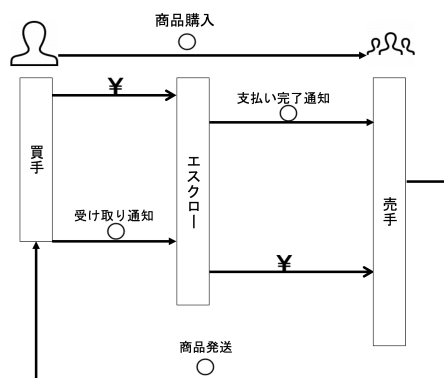


図1 エスクローサービスを適用したネットショッピングサイトのピクト図解

3. 結果・考察

3.1 図・表の挿入と文献引用について

4. 結論

参考文献